

第4号様式（第8条関係）

議 事 録

会議名	平成28年度第2回寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定等外部委員会		
開催日時	平成28年8月23日（火）午後2時00分から午後3時00分		
開催場所	寒川町民センター 3階 講義室		
出席者名、欠席者名及び傍聴者数	<p>< 委員 > 梅村仁（委員長）、田中雄介、大谷勝彦、金子一茂、伊與田能輝、太田良勝、松島幸司、豊田敏樹、糸野靖男、前田久子、牧戸雅子</p> <p>（欠席者） 近藤祐幸（副委員長）、豊田大知、鈴木潔、西郷公子</p> <p>< 事務局 > 企画政策部長：深澤文武、企画政策課長：高橋陽一、企画行革担当副主幹：青木裕昭、同主査：吉田慎也、三澤忠広、同主任主事：三澤功一、赤崎平</p> <p>※ 傍聴者5名</p>		
議 題	(1) 平成27年度実施の地方創生先行型事業の検証結果について (2) 寒川町プロモーション戦略の策定について (3) 寒川町プロモーション戦略策定に伴う基礎調査の進捗状況について		
決定事項	議事- (1)平成27年度実施の地方創生先行型事業の検証について 【事務局から内容説明し、委員から別添のとおり各種意見等あり】 議事- (2) 寒川町プロモーション戦略の策定について 【事務局から内容説明し、委員から別添のとおり各種意見等あり】 議事- (3) 寒川町プロモーション戦略策定に伴う基礎調査の進捗状況について 【事務局から内容説明し、委員から別添のとおり各種意見等あり】		
公開又は非公開の別	公開	非公開の場合その理由（一部非公開の場合を含む）	

議事の経過	<p>○開会 議事までの間、深澤部長が司会進行</p> <p>○議題（議事進行：梅村委員長） （梅村委員長）文教大学の梅村でございます。本日はよろしく申し上げます。 議題に入ります前に、今回の議事録承認委員の確認についてですが、承認委員については、「名簿順」ということになっております。今回は松島委員になりますので、よろしく申し上げます。 それでは、議事を進めてまいります。 議題1平成27年度実施の地方創生先行型事業の検証結果について事務局から説明をお願いします。</p> <p><事務局から平成27年度実施の地方創生先行型事業の検証結果について概要を説明> 資料1：総合戦略 取り組み状況点検シート</p> <p>（梅村委員長）説明が終わりました。ただいまの説明事項について何か確認したいことやご意見等がありましたらお願いします。 （太田委員）前回の委員会での意見等が整理されていて良いと思う。 （梅村委員長）1点確認させてもらいます。資料7ページの外部委員の意見の中で「安心な部分として、」というのがありまして、ちょっとわかりづらいので、出産環境の整備ですね。出産環境の整備へとか修正していただけるとわかりやすいかなと思います。 他にいかがでしょうか。それでは議題（1）については以上とさせていただきます。 続きまして議題2寒川町プロモーション戦略の策定について及び議題3寒川町プロモーション戦略策定に伴う基礎調査の進捗状況についてを一括議題とし、事務局から説明をお願いします。</p> <p><事務局から寒川町プロモーション戦略の策定について及び寒川町プロモーション戦略策定に伴う基礎調査の進捗状況について概要を説明> 資料2：寒川町プロモーション戦略の策定の考え方について 資料3-1：寒川町プロモーション戦略策定に関する基礎調査（要約版） 資料3-2：寒川町プロモーション戦略策定に関する基礎調査報告書（案）</p> <p>（梅村委員長）説明が終わりました。行政の内部の中で作られた資料なので読</p>
-------	---

みにくいところもあろうかと思います。そういったことも加味しながら文言の説明等も踏まえた中で、ご質問ご意見等ありましたらお願いします。

(梅村委員長) 確認ですが、プロモーション戦略の考え方についてご説明いただきました。今後さらに具体的なことが考えられていくのですが、それに関する意見聴取はこの外部委員会で行うのですか。

(事務局) 外部委員会につきましては、戦略の進行管理の役割もありますので、このプロモーション戦略を作るというものも総合戦略の中の一つの施策のため、ご意見についてはこの場でいただければと考えています。また、外部委員会としていただいた意見について、庁内検討組織もありますので、そこに投げ返ししながら、スケジュールのところでご説明した3月に固めていこうと考えていますので、ご意見をいただければと思います。

(梅村委員長) いかがでしょうか。

(糸野委員) 質問ですが、最後のページに優先度を5つのタイプに分けて記載されていますが、ターゲットとして例えば優先度の高い上の2つだけを中心と考えていくということなのか、そうではなくてあくまでも全般的に幅広くプロモーションしていくのか、という考え方の方向性は決まっているのでしょうか。

(事務局) このプロモーション戦略の考え方の基本として、マーケティングの手法を取り入れながら作っていきたいと考えています。そういった視点で申し上げますと5つのタイプ全てに同じ力を注ぐのではなく、タイプとしては1つ目と2つ目、スローな郊外居住重視タイプと利便性を中心とした住環境へのこだわりタイプの2つのタイプの方々が寒川のもつ強みを活かしていくにはアプローチがしやすいので。この1つ目2つ目を重視してやっていき、付随して他の3つのタイプについては全くやらないというわけではないが、比重的には減り張りをつけてやっていきたいと考えています。

(梅村委員長) もう一つよろしいですか。8ページのところで寒川町の「暮らしやすさ資源」という言葉があります。この言葉は寒川町ならではの言葉ですか。「暮らしやすさ資源」というのは。

(事務局) 今回実際にPRするにあたって、寒川町的生活環境に関するポテンシャル、強みを整理している中で、対外的に町外から思われているものよりも暮らしやすさ、生活利便性が高いということが結果として出ました。これを一つの資源として売り込んでいきたいということを考える中で「暮らしやすさ資源」ということでオリジナルの言葉として表記させていただいておりましたが、付加価値、暮らしやすさの総称として「暮らしやすさ資源」として整理させていただいたものです。

(梅村委員長) 説明を聞くとなんとなくわかるんですが、結果的にこれからのプロモーションの中で売っていくときに、この図を使っていくんですね。これが町民や町民外の方にわかりやすいかなというのが疑問に思っております。こうしたらというのではないですが。ざっと読むと一つ目に固有の資源というのがあって、こういう良いところがある。その横にこれが暮らしの付加価値ということになっていて、どちらかという固有の資源は言葉で言うと暮らしのベースが固有資源に読めるんじゃないかなと。

次に下の方は互角の資源とあります。これは生活利便性という言葉があるが、ちょっと言葉がすとんと落ちてこないと感じます。町としてこれでいくというのであれば良いですが、対外的に出て行ったときにわかりやすいことをしておかないと意義が薄れていくのではないかと考えています。全くこれがダメというわけではないですが、私自身はそうのように受け取りました。

(事務局) 実際に対外的にわかりやすい表記が売り出していく上では大事な要素になっていくと思いますので、この文言についてはこちらで改めまして検討、整理させていただきます。

(梅村委員長) 寒川町の資源そのものが暮らしやすきなんでしょうか。

(事務局) 今回ギャップということで出てきたものとして、実際寒川町の生活利便性が高いと町内の居住者は認識していること。対外的にはそれが認識されていないということが出てきましたので、このギャップを埋めるための認知活動という意味で、暮らしやすきということを提案していきたいと考えています。

(太田委員) 今の続きになりますが、いろんなご説明を聞く中で、グラフがありますよね。私は説明を聞く中でここが一番目がいったところで、一般の人が見て一番わかりやすい。字でいろんなことが書いてありますが、それは印象に残るものではなくて、グラフはすごく印象に残る。例えば機能的イメージで見れば、日常の買い物が便利というところに町民の方はすごく高い評価をされている。それ以外の方は0%に近い。外の人から見ると寒川町は日頃の買い物は不便だと思っているということですよ。それと自然が豊かというところは思いのほか町外の方は思っていない。それと住宅価格や家賃が手頃というところについては、住んでいる方の半分くらいはそう思っていますが、よその方は思っていない。このギャップを埋めていくところが、一番わかりやすいものができていくんだらうと感じます。

それとその下の情緒的イメージの方で言えば、あたたかみがあるとか落ち着いているとかいう部分が、これまた外の方はそう思っていない。というよりも知らないのだらうなと思う。これはちょっと来てすぐに気づくも

のではないのでしょうかないことかなと思います。このグラフで差がすごく開いているところを埋めていくようなストーリーをうまく作って、それを町民の方、議員、議会でも、こういうギャップがあるからこういうふうに埋めたいので、こういうストーリーでこういうふうにやっていくんだ、という話がわかりやすくて、そのベースにはこういったしっかりした分析であるとかそれに基づくそれぞれの戦略がありますが、それは行政としては必要な事だと思っています。これはいけないというのではなく、これがなければかなりふわふわしたものになるので必要ですが、出していくときにはギャップの話から説明していくのが一般の方はわかりやすいのかなと感じました。以上です。

(事務局) まさにおっしゃっていただいたとおり、このギャップを埋める作業をこれからの最重要な部分とすることで、認知を向上させていく上では大事な要素と考えていますので、現状を説明するにあたってはビジュアル的にわかりやすい資料となるよう工夫していきたいと思っています。

(太田委員) もう一つ、1ページ目の寒川の地図を見たときに思ったことが、寒川町は近隣の市に比べたらコンパクトですよね。この中にインターチェンジが2つあって鉄道駅が3つあることがまず知られていないのだろうなと思います。鉄道駅は北に行けば海老名にぶつかるし、南に行けば茅ヶ崎にぶつかるといった認識があんまり、神奈川県民はあるかもしれませんが、東京都民はそういう認識があるのかなと思っています。町の位置にインターチェンジと鉄道の駅を書いた絵をどんと出すだけで結構、しかも中心駅の周りに都市機能が充実しています。都市機能というか育児であるとか、小児医療であるとか。あるいは寒川の総合図書館は相当レベルの高い図書館がありますよね。たしかIT対応の図書館でしたよね。そういったようなかなり質の高い施設が集中しているので、そのイメージを絵的に出してしまうのがわかりやすいなと思います。

(事務局) 寒川そのものが知られていないということがあります。コンパクトな町域にインターチェンジが2つある、鉄道駅が3つあって、町内の端からそこを目指したとしても、駅にしても10分15分あればアクセスできる。実は非常に恵まれた環境なんじゃないかなと。であるからこそ、実際に住んでいる町民の方が暮らしやすいと評価していただいていると思っています。そういったことが町外の方に知られていない事が、問題でありチャンスであると思っていますので、見せ方次第では寒川はすごい所なんだとアピールできると思っています。いただいた意見を踏まえながらうまく皆さんに知っていただく努力をしていきたいと思っています。

(梅村委員長) 他にありませんか。無ければ議題2及び3は以上とさせていた

	<p>できます。</p> <p>○その他 (梅村委員長) 続きまして3「その他」でございますが事務局から何かございますか。 (事務局) 事務局より2点ほどご連絡をさせていただきます。1点目は第1回の外部委員会の議事録案ができましたので、本日机上に配布させていただいています。後程ご確認いただき修正等ございましたらご連絡をお願いいたします。2点目は次回の会議の予定です。現在11月の開催を予定しております。日程の調整ができましたら改めてご連絡させていただきますので、よろしくお願いたします。なお、次回の会議では総合戦略の各事業の上半期の進捗状況とプロモーション戦略に関する具体的な取り組みの方針や内容についてご議論いただきたいと思いますと考えておりますので、よろしくお願いたします。事務局からは以上です。</p> <p>(梅村委員長) ただいま件についてご質問等ございますか。 無ければ「その他」についてもここまでとさせていただきます。 以上で本日の議事は全て終了しましたので、事務局にお返しします。</p> <p>○閉会</p>
<p>配付資料</p>	<p>資料1：総合戦略 取り組み状況点検シート 資料2：寒川町プロモーション戦略の策定の考え方について 資料3-1：寒川町プロモーション戦略策定に関する基礎調査（要約版） 資料3-2：寒川町プロモーション戦略策定に関する基礎調査報告書（案）</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>松島 幸司（平成28年11月4日確定）</p>